

平成28年5月12日

各 位

株式会社北海道銀行
道銀カード株式会社
株式会社岩手銀行
株式会社近畿日本ツーリスト北海道
国土交通省北海道運輸局

台湾訪日旅行者（FIT）をターゲットとしたメディア招聘事業の実施について

株式会社北海道銀行、道銀カード株式会社、株式会社岩手銀行、株式会社近畿日本ツーリスト北海道、株式会社北海道エアシステム、北海道国際輸送プラットフォーム推進協議会（以下「HOP推進協議会」）、一般社団法人シーニックバイウエイ支援センター、北海道地区「道の駅」連絡会、東日本高速道路株式会社北海道支社（以下「NEXCO東日本北海道支社」）は、台湾訪日旅行者をターゲットとし、パワーブロガー（温世凱氏）・ケーブルテレビスタッフ（東森電視公司）を招聘し、台湾FIT（Foreign Independent Traveler）向けに情報発信を行います。

北海道銀行は、上記協力事業者と連携して、各種サービスの紹介、新たなる広域ルートの開拓や地域の魅力ある情報を発信することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 視察日程 平成28年5月14日（土）～20日（金）

2. 視察地域と趣旨（行程表は別添のとおり）

	行 程	提 案 内 容
1	岩手県花巻市～北海道釧路市	北海道東北広域連携
2	新青森駅～新函館北斗駅	北海道新幹線の利用
3	長沼町	民泊、グリーンツーリズムの推進
4	苫小牧西IC～新千歳空港IC	高速道路利用による2次交通の提案
5	釧路川カヌー体験	体験観光の推進
6	釧路空港～丘珠空港	北海道エアシステム利用による2次交通の提案
7	サッポロドラッグストア、ヤマダ電機、その他	「台湾スマートペイ」利用による決済手段の提案

(1) 台湾 Smartpay デビットサービス

道銀カードが台湾における中華民国銀行公会（日本における全国銀行協会にあたる組織）と提携し、国内で唯一、台湾国内の銀行で発行されたキャッシュカードをそのまま日本国内でのお買物の決済手段（デビットカード決済）としてご利用いただくことのできるサービスです。

また、道銀カードの母体行である(株)北海道銀行では、新千歳空港や札幌市内等計4ヶ所のATMで、提携する台湾の15の銀行が発行するキャッシュカードで直接「日本円」を引き出せるサービスを展開しております。

(2) 海外おみやげ宅配便

産学官で構成されるHOP推進協議会が構築した、海外向けの小口航空輸送サービスです。外国人観光客が旅行中に購入した冷凍・冷蔵のおみやげ品を、海外の自宅に配送することができます。

(3) シーニックバイウエイ北海道

地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮した地域の魅力を道でつなぎながら景観づくり、地域づくり、魅力ある観光空間づくりなどを目指す取り組みで、ドライブ観光も推進しています。現在、12の指定ルート、2の候補ルートがあり、3月26日から「シーニックバイウエイドライブマップ2016」（定価200円）を「道の駅」と連携して販売しています。

(4) 「道の駅」

24時間利用できる駐車場やトイレなどの「休憩機能」、道路利用者や地域の情報を提供する「情報発信機能」、「道の駅」を活かした活力ある地域づくりを行なうための「地域連携機能」、これら3つの機能を併せ持つ施設が「道の駅」です。3月26日から「道の駅」を巡る「スタンプラリー2016」を実施しています。

(5) Hokkaido Expressway Pass

NEXCO東日本北海道支社の外国人旅行者向け高速道路定額乗り放題商品「ドラ割」。レンタカー会社18社と提携し、ETC無線通信可能なレンタカーで2日間～14日間、定額で北海道内の高速道路が乗り放題となる割引商品です。

3. 現状の課題と目的

昨今、政府は「明日の日本を支える観光ビジョン」として、訪日外国人客を2020年には2倍の400万人、旅行消費額を2倍の8兆円とする意欲的な目標を打ち出しております。道内においては、2014年度の国別訪日外国人客は台湾が47万人とトップであり、大きなマーケットとなっています。

このような中、北海道新幹線が開通し、東北地域との広域連携が益々重要となってきたため、今般、東北北海道連携の観点から岩手銀行とタイアップしております。

ターゲットは台湾FITとしながら、個人で高速道路を利用して、ドライブを楽しむ、また、北海道新幹線や北海道エアシステムを利用して、広い東北北海道をより効率的に楽しんで頂けるよう2次交通をフォーカスした企画と致しました。

加えて、台湾訪日客に十分に認知されていない各種サービス、全道に渡る決済利用環境の充実、お土産の購入における利便性、道の駅の充実したサービス、農村民泊体験、道東での体験観光等、優れた旅行先や楽しみ方を用意しており、全道各地へFITの一段の拡大につながるものと考えております。

なお、本件は平成28年度の「ビジット・ジャパン(VJ)地方連携事業」(国土交通省北海道運輸局)の予算を活用させていただいております。また、本件の旅行事業につきましては、株式会社近畿日本ツーリスト北海道が担当いたします。

【お問い合わせ先】	担当者	連絡先
■(株)北海道銀行 営業推進部 観光産業推進室	坂口	011-233-1271
経営企画部 広報CSR室	大海・西東	011-233-1005
■道銀カード(株)	立林	011-241-1773
■(株)岩手銀行 法人戦略部	佐藤	019-624-7011
■(株)近畿日本ツーリスト北海道	小川	011-251-5731
■北海道開発局港湾空港部港湾計画課	藪田	011-709-2137
■(株)北海道エアシステム	大田	011-769-0510
■シーニックバイウエイ支援センター	伊藤・紺野	011-708-0429
■NEXCO東日本北海道支社	広報課	011-896-5238
■北海道地区「道の駅」連絡会	新井	011-736-8577

以上